

## 化学物質管理の強化

### REACH規制への対応

横浜ゴムグループは2005年に発足した化学物質管理委員会内にREACH分科会を発足して取り組みを進めています。2007年度は登録が必要となる当社製品中の化学物質の洗出しを完了しました。またサプライチェーン間の情報共有はアーティクルマネジメント推進協議会(JAMP)で提案して

いる手法の社内展開を検討しています。

さらに、購入先での登録手続きが必要な購入品は、2007年12月に事前に登録の意志確認を行い、446社中164社から回答を得ており、登録漏れの防止に努めています。

※REACH: Registration, Evaluation, Authorization and Restrictions of Chemicals (EU規制「化学物質の登録、評価、認可および制限に関する規制」)

### ELV指令への対応

鉛・六価クロム・カドミウム・水銀・4化学物質の全廃に向けて、グループの技術開発部門だけでなく調達先の協力も得て、適合物質を含まない原材料や部品の採用を進めてきました。2007年度は約4300点の銘柄について4化学物質の非含有データ保証を完了しました。

### VOCsの削減

排出量の上位を占める揮発性有機化合物(VOCs)\*1削減に取り組み、2007年度は2000年度(基準年)比54%削減し、フェーズI目標(50%削減)を1年前倒しで達成しました。

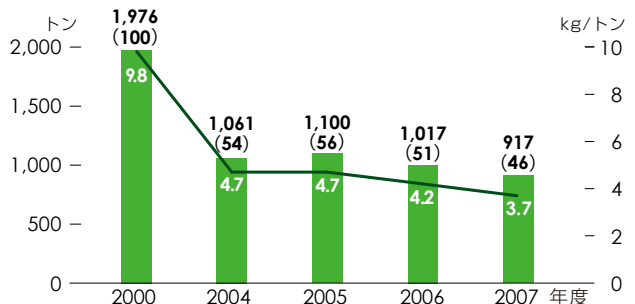
\*1 VOCs: 大気中に排出、または飛散したときに気体である有機化合物。

### データベースで一元管理

サプライチェーンを通じた調達先及び調達品を調査し、購入原材料などに含まれる化学物質中の環境負荷物質の情報を社内システム「MS-InC」で管理しています。これにより本社、設計、開発の技術部門および国内8工場で効率的に情報共有できます。今後は海外工場への展開を図っていきます。

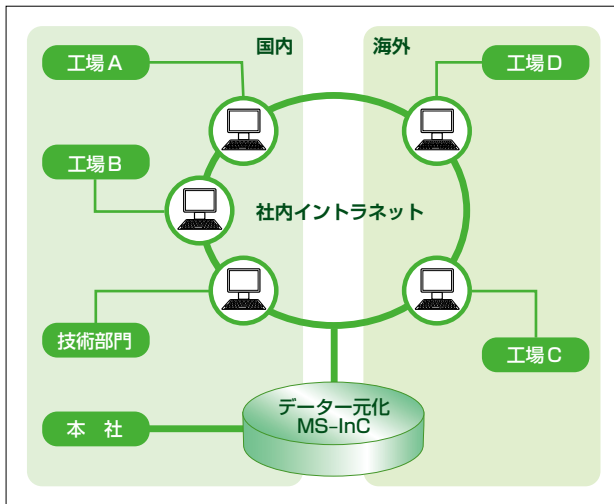
※MS-InCは、Material Management System Information of Chemicalsの一部から命名しました。

#### VOCs排出量



■ 排出量 — 原単位 ( )内は2000年を100とした指数  
 ※集計対象範囲の変更により、2006年度の排出量を修正しています。この修正による影響は軽微です。※原単位算定式=排出量/生産量

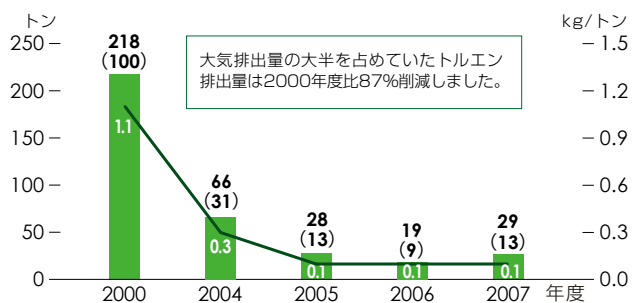
MS-InCの概念図



### PRTR対象化学物質の削減

2007年度に横浜ゴムグループで取り扱ったPRTR対象化学物質の排出量、移動量の合計は127トンで2000年度比65%減少しました。

#### トルエン排出量(国内全事業所)



■ 排出量 — 原単位 ( )内は2000年を100とした指数  
 ※原単位算定式=排出量/生産量